

奥町出張所木造庁舎

平成2年、旧一宮市内10か所の出張所のうち、唯一木造だった奥町出張所が取り壊されました。建物は、中島郡奥町役場として昭和11年に竣工。木造瓦葺き2階建てで、外観は淡いブルーの板壁に屋根にはシャチホコという、それはそれはモダンな造りでした。内部は役場窓口や町長室、そして2階にはシャンデリアを備えた荘厳な議場もありました。織物産業が活況を呈し、税収が豊かだったところの中島郡奥町が、最高の建築技術を結集して造った自慢の庁舎でした。昭和30年に一宮市と合併し、「中島郡奥町役場」から「一宮市奥町支所」に。さらに、昭和



和45年に「一宮市奥町出張所」と移り変わりました。昭和47年には西隣に奥公民館が建てられ、出張所機能もこちらに移転。しかし、活発な地域活動で手狭となり、新庁舎建設の計画が急浮上、両施設を取り壊して、跡地に現在の奥町出張所が建設されました。当時、新しい出張所と公民館の待望論も多かった半面、古い木造庁舎の取り壊しを残念に思う声も多かったため、古い庁舎のシンボルでもあったシャチホコは保存され、現在は新しく建てられた庁舎入口のショーケースに展示されています（写真）。ガチャマン景気を背景にした、大正ロマンを感じさせるモダンな木造庁舎。地元をはじめ記憶にある方もきっと多いはず・・・。



※前号のDoors内で、一宮市木曾川資料館が平成27年に国の登録有形文化財となったとあるのは、平成18年の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

一年ほど前、7人のメンバーで編集をスタートした議会だより。5月号からは「広報いちのみや」同様に縦書きが横書きになりましたがお気づきでしょうか。この一年、読者の視点に立った紙面づくりを心がけてまいりました。次号からは新たな編集委員へと引き継がれます。

「青は藍より出でて藍より青し」の思いを忘れることなく、引き続き開かれた議会への意識を高めてまいります。ありがとうございました。

議会だより編集委員会

委員長 島津 秀典

副委員長 鵜飼 和司

委員 渡部 晃久

河村 弘保

高橋 一

彦坂 和子

末松 光生

市議会議員の寄付は禁止

議員が選挙区内の方に寄付をすること(中元、香典などを含む)や有権者が議員に寄付を求めることは、公職選挙法により禁止されています。

市民各位におかれましては、この趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。



議会だより138についてのご意見をお聞かせください。(一宮市議会事務局 議事調査課 Tel. 0586-28-9139)

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト
(ホームページ)からご覧いただけます。

ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター
いちみん